

教育委員会だより

第35号 (令和5年1月～4月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314

e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

これからの池田町は、
「ぼくたちに」任せてください

教育長 仲井 智一

2月末に、温知小6年生による、「総合的な学習の時間発表会」が行われました。「すべての人がくらしやすい町づくり」をテーマに、産業や観光、福祉などの領域について調査、研究した結果を、「私たちにできること」「池田町に要望すること」などにまとめ、ICT機器を上手に使ってとても分かりやすく発表できました。

こうした子どもたちの姿に接するたびに改めて思うことは、「自分事意識（オーナーシップ）」を醸成することの大切さです。つまり、「どんなことでも他人事とせず、自分のこととして考えて行動し、その過程や結果に責任をもつ」こと、こうした考え方を子どもたちに育んでいく営みが、学校や家庭、社会全体で不足していることを強く感じています。

そこで、池田中で勤務をしていた2年間、生徒に問いかけ、求めたことは、いつもこのことでした。「学校が変わっていくのは、貴方たち一人一人にかかっている。今よりも、誰もが安心して学び、生活できる学校にするために、貴方たち一人一人の願いと行動に期待したい」と話しました。そして、コロナ禍の中ではありましたが、生徒会が中心になってクイズ大会を企画したり、校則の見直しなどを行ったりしました。

また、昨年6月に「子ども基本法」が成立し、

子どもの権利擁護や意見を表明する機会の確保等が法律上位置付けられました。子どもたちの健全な成長や自立を促すためには、子どもたちが意見を述べたり、他者との対話や議論を通じて考える機会を持つたりすることは重要なことであり、例えば、校則の見直しを検討する際に、児童生徒の意見を聴取する機会を設けたり、児童会・生徒会等の場において、校則について確認したり、議論したりする機会を設けることは、「自分事意識」を育んでいくための有効な手立てとなります。

先ほど紹介した発表会では、6年生児童全員が発表を受け持つと共に、その最後は「これからの池田町は、ぼくたちに任せてください」の力強い言葉で締めくくられる等、テーマの達成に向けた子どもたち一人一人の強い願いを感じることができました。私たち大人に必要なことは、こうした子どもたちの可能性を信じて任せる「心理的安全性の担保」なのかもしれませんね。



令和4年度二十歳を祝う会を開催しました

成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、「成人式」から「二十歳を祝う会」に名称を変更し、1月8日池田中体育館にて開催しました。式典には20歳の節目を迎えた214人が出席しました。

式典の司会進行は当時生徒会長の成瀬雄一朗さんが行い、岡崎町長の式辞では「常に前向きに失敗を恐れることなく、いろいろなことに挑戦していただきたい。コロナ禍の混乱が続く中で、これから先多くの試練に直面することもあります。決して他人に責任転嫁せず、現実から目を背けず乗り越えていただきたい」とメッセージが贈られました。二十歳代表の田中花香さんは「周りの方への感謝を忘れないこと、助け合い、困難に立ち向かう一員となり日々精進すること、そして変化を恐れずにチャレンジし続けることが、自分のためだけでなく大切な人や誰かの力となり笑顔の源になっていることを忘れないでいたいと思います。」と二十歳の誓いを力強く述べ、式典を終了しました。



池田町教育センター運営委員会

研修会を行いました

1月12日に各校長並びに教育委員が参加をし、運営委員会研修会を行いました。「学校運営協議

会と地域学校協働本部の一体的推進について」～なぜ今、コミュニティスクール？地域学校協働活動？～をテーマに、講師として県環境政策課生涯学習企画監の石井幹也様を招き研修しました。



『地域学校協働本部』の法的な位置付けや、コミュニティスクールとして学校が抱える課題、地域学校協働活動として地域が抱える課題が明確となる講話でした。社会教育課を中心に実施している「放課後子ども教室」「池田つ子チャレンジ教室」等の充実とともに、人口減少社会に対応するために、「つながり」を大切にする地域学校協働本部の立ち上げに向けて、学校と地域が共通の願いをもって「地域の子どもたちのために何ができるか」を考えるよい機会となりました。

初任者研修を開催しました



1月24日に令和4年度第2回初任者研修が開催され、初任教諭7名が参加しました。午前中は、「9ヶ月を振り返って成果と今後の課題」を題材として教育委員と懇談を行いました。先生方からは、第1回の研修会時同様、精一杯日々の活動に取り組んでいる様子が伝わってきました。午後からは、普通救命講習会を受講しました。益々の活躍を期待しています。

岐阜県地域活動フォーラム2022に参加

2月10日に池田町役場会議室においてオンラインで参

加しました。

はじめに、「地域学校協働本部と学校運営協議会の一体的推進とは」をテーマに文科省国立教育政策研究所総括検査官の志々田まなみ氏から、今求められる地域学校協働活動の背景や仕組み、制度等についての講話を聞きました。



その後、羽島モア学園の絆会議の実践紹介やぎふ地域学校協働センターの取組についての事業報告がありました。

これからは、学校や保護者だけでなく、地域でナナメの関係を築き、第三の居場所を支援する人を増やしていく必要性があることを学びました。

南部校長会との

合同会議を開催しました

2月20日に南部校長会と教育委員会との合同会議を行いました。

最初に、各小中学校の校長先生方より、令和4年度後半期の「学校評価」などについて報告され、令和5年度に向けた意見交換を行いました。

各学校からは、ポケットWiFiを使用して校外学習を行うなど、ICT活用をさらに進めた実践例の報告もありました。また、コロナ禍での3回目の卒業式の注意点やICT活用による情報モラルなどの問題について、引き続き指導を進めることを共通理解しました。

令和4年度卒業式を行いました

池田中学校では3月7日、各小学校では3月23日に卒

業式が行われ 中学校253名、温知小85名、池田小49名、宮地小13名、八幡小61名、養基小22名(含む揖斐川町)の児童生徒が卒業しました。卒業生、教職員はマスクなしでの授与式参加となり、晴れやかな笑顔が垣間見られました。卒業生の未来に幸多かれと祈っています。

池田中では

卒業生一人一人に校長先生より、卒業証書が渡され、緊張の中、晴れやかな姿を見ることができました。

「従来聴けた卒業合唱として『丘の桜』をぜひ聴きたい」と参観者からの声が聞かれました。

卒業生の皆さん、新しいステージでの活躍をお祈りいたします。



温知小では

例年になく桜の開花が早く、校庭の桜も卒業生の旅立ちを祝っていました。3年ぶりの国歌・校歌斉唱は、児童の歌声が当たり前に聴ける喜びを味わいました。

例年と違って、送辞・答辞が式次第の中に位置付けられ、3人の5年生代表による送辞には、大切にしている3本柱の活動などを引き継ぐ次期最高学年としての意欲を感じました。3人の卒業生代表による答辞には、感謝の言葉がちりばめられ、長い答辞をすべて暗唱していたことに驚きと感動を味わいました。



15分程度の「卒業メッセージ」の映像で6年間の主な行事が紹介され

ました。この動画は、6年生の先生方の手作りだと思えますが、卒業生へのサプライズプレゼントでした。懐かしい画像を食い入るように見つめていた卒業生たちでした。大人の私たちは、「未来の池田町は僕たちに任せてください」という卒業生からの頼もしいメッセージを受け取りました。

池田小では



コロナ禍で様々な制約により先が見えてきた中で、久しぶりに来賓も列席して、卒業生が池田小学校を旅立ちました。

卒業生一人一人の想いがこもったお別れの言葉には、おもわずこみ上げてくるものを感じました。

卒業生の明るい未来を予感させる素晴らしい卒業式でした。

宮地小では

今年度の式は、コロナによる規制がやや緩和される中、多くの来賓の隣席のもと行われました。

卒業生は、卒業証書授与に続いて、将来の夢や努力したいことについて保護者の前で発表しましたが、なりた職業のほかに「皆を笑顔にできる仕事に就きたい」「優しい言葉遣いに心掛けたい」「友達を大切にしたい」など優しい気持ちで周りを私たちにも届けてくれました。

校長先生からは、相田みつおさんの「ありがとは魔法の言葉。唱えれば幸せの神様がやってくる」という言葉が送られました。



卒業生も在校生も皆元気が良い中で、卒業式ができました。

八幡小では



開校150周年を迎えた今年度、在校生代表として5年生も加わり、より多くの来賓と保護者も見守る中、卒業式が行われました。

校長先生からは、式辞の中で「皆さんは、いつも心を一つにして何かを成し遂げようとしていました。戦争、災害、感染症等、当たり前前になることがあります、心一つにして取り組んだことを忘れないで進んでほしい」とお祝いの言葉がかけられました。

最後に6年生と担任の先生が言葉を集めながら共に作詞し、担任の先生が作曲をされた「スマイル」の合唱が披露されました。マスク越しの合唱ではありましたが、3年ぶりの卒業合唱は卒業生の想いが溢れ、とても心に響きました。

養基小では

来賓、保護者、職員、在校生代表の5年生の出席のもと卒業証書授与式が行われました。

告辞者からは、「コロナ禍で制約された行事ではあったが、友だちの大切さ、成し遂げる大切さを感じて欲しい」とお祝いの一言がありました。

その後、それぞれの卒業生スピーチの後、壇上に登り校長先生から卒業証書を授与されました。



校長先生からは、「皆さんが大きく成長したのは、ふじはし星の家での考えて動くことを経験し、その後、『考動』を合言葉に活動したことが大きな影響を与えている」との話があり、今出来る一つ一つを積み上げ、中学校での更なる活躍を期待するとの祝辞がありました。久しぶりに感動をもらった卒業式でした。

令和5年度入学式を行いました

4月7日、池田中学校では午後から、各小学校では午前中に各小学校で入学式が行われ、中学校218名、温知小53名、池田小41名、宮地小9名、八幡小47名、養基小25名（含む揖斐川町）の児童生徒が入学しました。



新一年生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございました。

温知小では

今年は、久しぶりに多くの来賓の皆様をお迎えし、入学式を開催することができました。

担任の先生から一人一人の新入生の名前が呼ばれ、どの子も元氣よく「はい」と返事ができていました。

校長先生から、3つの約束「友だちと仲良く」「先生

や友だちの話をしっかり聞く」「早起き、朝ご飯」についての話がありました。また、6年生の児童代表からは、温知小で大切にしている3つの活動「あいさつ・掃除・ボランティア」について説明がありました。



話を聞く新入生の姿から、「楽しいこ

とがいついある温知小で頑張るよ」という気持ちが伝わってきました。

池田小では

保護者の拍手に包まれて体育館に入場してきた新生は、皆良い姿勢で、話をしっかり聞くことができていました。

体育館の壁は在校生が作成した鮮やかな装飾に彩られ、歓迎の気持ち満ちたものでした。元気な小学校生活のスタートにふさわしい、気持ちの良い入学式でした。

宮地小では

来賓・保護者・職員・在校生が見守る中で、新一年生の入場は初々しさに満ち溢れていました。

新たに着任された加藤校長先生の式辞では、大切にしてほしいこととして、次の三つのことが話されました。

- ・交通事故等危険なことから、自分自身をまず自分で守る。
- ・進んで挨拶をする。
- ・優しくお話をし、友だちと仲良くする。

子どもたちの初々しい表情や動作を見てみると、「平和の中で、成長し幸せな人生を歩んでくれるように」という気持ちで自然と湧いてきました。

八幡小では

岡崎町長をはじめ来賓、保護者、職員が見守る中、入学式が行われました。マスク着用は個人の判断に任せられるようになり、マスクを外して参加した新入生も多く見られました。



式辞の中で校長先生からは、学習に使う国語や算数などの教科書を何冊か見せてもらい、新一年生は目を輝かせていました。また、「おめでとうございます」の言葉に深々と礼をしたり、「頑張りますよ」の声掛けに「はい！」と元気よく応えたりしていました。

養基小では

春の風のような天気となりましたが、入学式が行われました。来賓、保護者、職員、代表児童の拍手に迎えられ、新一年生が、少し緊張した面持ちで元気に入場しました。

担任の先生から名前を呼ばれ、「はい」と、返事をして立つ姿や、お祝いの言葉に「ありがとうございます。」と、声を合わせて応える姿に、微笑ましさで頼もしさを感じました。

校長先生からは、「挨拶を頑張りますよ。そして、みんなが明るく、楽しい学校にしましょう。」と、話がありました。話を真剣に聞く姿から、「1年生になったから頑張ろう」という気持ちが伝わってきました。



池田中では

新たに着任された河村校長先生より、中学校の教育目標の「志をもつて未来を切り拓け」の「志」について「一生をかけて成し遂げたいという大きな目標」というお話を聞きました。

まさに、真新しい制服に身をつつみ、新しい仲間と出会う期待と希望に満ちあふれている新一年生への、最高のエールであったと思います。

新入生の皆さん、目標をもち中学校生活を楽しんでください。



編集後記

桜の季節から新緑の季節となり、子どもたちは新しい環境での緊張感もほぐれ、希望に満ちた生活が送れるようになってきています。

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが2類から5類に移行されます。卒業式や入学式の参観者の制限が緩和され、マスク着用も一人一人の判断に任されます。withコロナ対策は、まだまだ継続が必要ですが、少しずつ通常の教育活動に戻っていくことを期待しています。

広報で既に紹介されていますが、今年度より養基組合教育委員として勝野茂優様が就任されました。次号で詳しくご紹介させていただきます。

編集委員のメンバーが一部代わります。不慣れですが教育委員会の活動がよりよく伝わるような発行を目指しますので、本日より、お気付きの点があれば、お知らせください。

編集担当：林 啓子・勝野 茂優

教育委員会の主な活動報告

令和5年1月～4月

日付	活動	場所
1月8日	池田町成人式	池田中学校
1月12日	池田町教育センター運営委員会研修会	庁舎会議室
1月24日	初任者研修会	庁舎会議室
2月10日	岐阜県地域活動フォーラム2022	庁舎会議室
2月20日	南部校長会・教育委員会合同会議	庁舎会議室
〃	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
3月3日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
3月7日	池田中学校卒業式	池田中学校
3月23日	小学校卒業式	各小学校
3月29日	町教職員離任式	庁舎会議室
4月3日	町教職員着任式	庁舎会議室
4月7日	中学校・小学校入学式	中学校・各小学校
4月19日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
〃	教育委員会だより編集会議	庁舎会議室